

6-2 2/4の指導計画

(1) 目標

- ・ 登場人物の言動の意味を考え、登場人物の人柄や性格について自分の考えをもつことができる。
- ・ 扇の的の場面に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像できる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表	○扇の的の場面について、舞台となった時代が歴史的にどういう時代であるか、どういう場面であるかなど既習内容を想起させ、本時の学習の流れを確認する。	
登場人物の人柄や性格がわかる表現を探し、人柄や性格を考えよう				
展開	2 扇の的の場面の登場人物をワークシートに書き出す。 3 「人物論」を書く人物を登場人物の中から一人選ぶ。 4 選んだ人物の、人柄や性格が分かるような表現を探して教材文に線を引く。 5 線を引いた部分から考えられる人柄や性格について、ワークシートにまとめる。 6 選んだ人物の人柄や性格について考えをまとめる。 1) 主張を一文で表す。 2) 根拠を示す。 3) 理由付けをする。 4) グループで意見を出し合い、考えを深める。	ワークシート② ワークシート② 補助資料	○すべての登場人物を挙げさせる。 ○選んだ登場人物について、置かれた状況や言動などに着目するよう指示する。 ○原文だけでなく、現代語訳やあらすじが書かれた部分にも着目させる。 ○「人物論」を書くために選んだ人物の言動の意味を、場面の状況と照らし合わせて考えさせる。 ○他の登場人物との関係なども考えるように伝える。 ○モデル学習を参考にさせる。 ○性格を表す語彙を一覧表にして渡したり、国語辞典や類語辞典を用意したりして考えをまとめる手助けをする。 ○「人物論」を書く登場人物ごとに、4人から6人くらいのグループを編成する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> [読①] 登場人物の言動の意味を考え、登場人物の人柄や性格について自分の考えをもっている。 【ワークシート②】 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> [言①] 「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像している。 【ワークシート②】 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 扇の的の場面の登場人物の言動と生徒の生活経験とを比べさせるなどして考えをまとめさせる。 </div>
まとめ	4 授業を振り返って学習計画表に「学んだこと・感想」を記入する。 5 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○次時は、「人物論」を書くことを確認し、見通しをもたせる。	